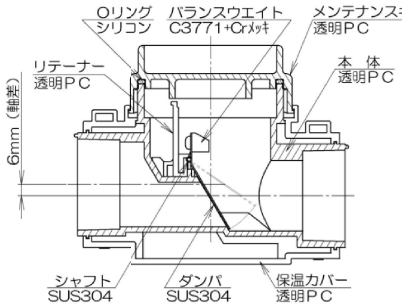
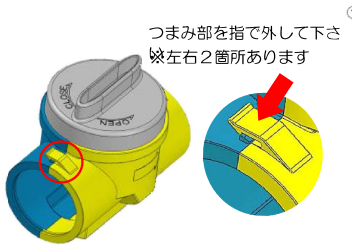
ウォータベスト

塩ビ管　横使い　KWC結露防止タイプ　取付要領

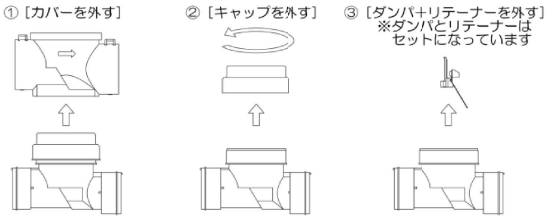


ＫＷＣ結露防止タイプ
① ＫＷＣ２５（ＶＰ２５用）
② ＫＷＣ３０（ＶＰ３０用）
③ ＫＷＣ４０（ＶＰ・ＶＵ４０用）

●本品は横排水管（塩ビ管）の中間又は末端に取り付ける商品です。
●塩ビ管をウォーターベスト本体に差し込んで接続します。
●接続する際、必ず塩ビ管用の接着剤を使用して下さい。
（ウォーターベストの受口に塩ビ管が突き当たるまで差し込み、接着剤が硬化するまで保持して下さい。）
●横引き配管は必ず勾配を取って下さい。（絶対に逆勾配は避けて下さい。）
●取り付けに際して、本体の軸に対する回転角度は5°以内で取り付けて下さい。
●本品は一次側と二次側の配管上下の軸差が6mmあります。
●接着剤が本体内部や外観からカバーに流れ込まないように注意して下さい。
●設置後にキャップが強く締まっている事を確認して下さい。
●メンテナンスの際、先に保護カバーを外した後にキャップを反時計方向に回転して外して下さい。
この時、本体を押さえて配管に力が加わらないように注意して下さい。（本体割れの原因となります。）
●ダンパ＋リテーナーのつまみを引き上げてダンパを取り出し、清掃して下さい。
●本体内部に蓄積した水垢、ゴミをブラシ等で清掃して下さい。
●止水用Oリングを清掃して下さい。
●清掃が終わりましたら、ダンパ、止水用Oリングを元に戻して本体を押さえながらキャップを締めて下さい。
（必ず最後までキャップを締め込んだ事を確認して下さい。）
●配管、本体に異常がない事を確認して下さい。
●許容耐圧は0.5MPaです。



カバーの外し方

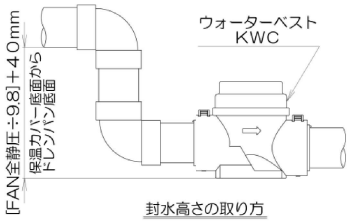


メンテナンス方法

202508

警告・設計上の注意事項

⛔ 本品はメンテナンス（点検・清掃）を必要とします。周囲に左右のカバーが開く分のスペースを確保して下さい。
⛔ 本品は樹脂製です。火のそば、衝撃を受ける場所、歪が掛かる場所での保存、使用はできません。
樹脂に有害な化学薬品が流入する環境下では使用できません。
⛔ 本品は完全に液体、気体を封じる物ではありません。
使用に際し下流から有害な液体・気体の発生場所での使用はできません。
⛔ 本品に繰り返し熱衝撃を与えないで下さい。配管部材との熱膨張差により破損する可能性があります。
⛔ 本品に固体及び粘性の高い物質を流さないで下さい。動作不良を起す原因になります。
⛔ 水没した状況での使用はできません。
⛔ 本品を改造しての使用はしないで下さい。
⛔ 本品に接着剤や塗料の付着及び周囲の物が干渉しない様に取り付けて下さい。作動しない可能性があります。
⛔ 空調機ドレン排水に使用する場合は各空調機ごとに個々に取り付けて下さい。
⛔ 空調機等静圧を有する機器のドレン排水に使用する場合はウォーターベストの本体底面から
ドレンパン底面間に封水高さ([ＦＡＮ全静圧÷９．８]＋２０ｍｍ※以上)を取って下さい。
(ＫＷＹ６５～１００及びＫＷＣシリーズは※＋４０ｍｍ以上取って下さい。)
⛔ ＫＷ、ＫＷＡ、ＫＷＹ、ＫＷＳ、ＫＷＡＳシリーズ(ＫＷ、ＫＷＡは口径２５～５０)の耐熱温度は７０℃、
結露防止タイプシリーズの耐熱温度は１１０℃（ＫＷ６５以上は６０℃、ＫＷＡ６５以上は９０℃）です。
⛔ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩ビ管(ＡＣドレン管等)を直接接続すると、内部の発泡層に浸水し、
ウォーターベストの配管受口部に割れが生じる可能性があります。
⛔ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩ビ管に接続する際、空調ドレン用結露防止層付硬質塩ビ管と
ウォーターベストの口径をあわせて、管メーカー製の媒介継手をご使用下さい。
媒介継手を使用せずウォーターベストに接続するとダンパが水没しトラップ機能が失われます。
⛔ 軟質塩化ビニールを接触させたり、軟質塩化ビニール管の下流に設置しないで下さい。
軟質塩化ビニール管に含まれる可塑剤の影響を受けて亀裂を生じることがあります。
⚠ 本品に付着物が発見された時には、速やかに清掃し付着物を除去して下さい。
⚠ 連続した排水に使用した場合、臭気・ガス等が逆流する事があります。
⚠ 接続方向が決まっておりますので、上流側・下流側を正しい向きに接続して下さい。
⚠ ＫＷＹ、ＫＷＣシリーズを取り付ける場合は必ず排水勾配を取って下さい。
⚠ ＫＷ、ＫＷＡ、ＫＷＹ、ＫＷＣ、ＫＷＳ、ＫＷＡＳシリーズ(中間取り付けタイプ)を
取り付ける場合、上下配管のずれは±１ｍｍ以下で配管して下さい。
⚠ 高温の排水による火傷にご注意下さい。
⚠ ダンパ取り扱い時に手指を怪我する恐れがありますので十分ご注意下さい。
⚠ 空調機等のドレン排水に使用する場合に雑排水桝、汚水桝等に直接排水すると臭気・ガス
が上がる事が有りますので間接排水を推奨します。
⚠ 中間取り付けタイプは取り付けに際し前後に配管支持を設けて下さい。
⚠ 長時間使用しない場合はダンパの作動を点検確認して下さい。
⚠ 本品の清掃の際、ダンパの可動部及びシャフト可動部等を曲げないで下さい。
⚠ 封水によって満水になる部分は結露が発生する可能性がある為、原則、別途保温する必要があります。



封水高さの取り方

株式会社東栄工業
TOEI
www.toei-kogyo.co.jp